

地域住民の意識も変える活動の和

—— 共同購入から魚食普及へ ——

加太漁業協同組合婦人部
副部長 畑 中 時 枝

1. 地域の概況

加太地区は和歌山県の最北端に位置し、春は潮干狩・夏は海水浴・年間を通じ磯釣・船釣でにぎわう漁業と観光の町である。人口約4千5百名、戸数約1,600戸で淡嶋神社の針供養や雛流し等で全国的に知られている。

2. 漁業の概況

加太漁協は正217名・准25名の組合員で登録漁船251隻、一本釣を中心に刺網・採貝藻・蛸壺漁業を営む典型的な沿岸漁業である。年間水揚額は8億円余りで、近年はUターンによる若い漁業者や女性の操業者も増加し漁業への依存は高くなっている。

3. 婦人部組織と運営

昭和32年設立。現在部員数196名、加入率95%、7地区を支部構成。役員13名任期2年。会費一人年間千円・漁協助成金・事業収益等50万円程度の活動費である。

4. 実践活動状況及び成果

私達の活動40年を振り返ると、設立以来の貯蓄運動から生活改善・合成洗剤追放運動・魚食普及活動へと大きな柱は県漁婦連と併行しているが、これらの活動を支えてきたのは共同購入で構築した組織力と活動の和であったと考えている。

共同購入の開始は、設立後部員数の安定した昭和38年サラダ油の一括購入だと記録に残っている。当時部員数は390名余りであったが、会費を徴収せず活動は漁協助成金に頼っていた。部員が希望する活動を行うための資金造りで始めた共同購入は、組織確立と活動意欲をもたらし、漁協婦人部を地域婦人組織の中心に位置づける成果を産みだした。

和歌山市の中心から電車で30分程度の距離があり、マイカーも少ない当時の物品販売は予想を超える売上量で活動資金は充分確保出来た。購入方法は支部別に10名程度の班を設け、見本を回し注文を取る形式である。日用品・衣類等の品目であるが軽くて洗える洋フトンや防寒着・ジャンパー等人気が高く、部員外へも回覧・注文のお世話をしてきたので地域の人々からも大変喜ばれた。

班長や役員は物品の選別、注文のまとめや配布、集金に多くの労力と時間を必要としたが便利さと好評でやる気満々であった。以来、回覧形式の共同購入は時節にマッチした商品に切り替えながら平成4年まで続けた。

共同購入で強固な班組織が確立し活動の基礎ができた。班は諸事業の徹底した伝達や部員の加入呼び掛け、又、班長・支部長・役員選出等組織運営の基ともなっている。その上地区全戸を対象とした共同購入は住民の信頼を高め、婦人部活動への理解や参加・協力がスムーズに得られるようになった。

以降、漁協婦人部活動が地域に浸透し意識や習慣が改善されるようになった。

〈生活改善への取り組み〉

消費生活が豊かになり家計費の膨らみが共同購入作業時の中心的話題となった昭和40年代、部員から交際費の簡素化の提案があった。「祝儀を貰ってお返しする」習慣は頭を悩ませることが多々ある。部員協議の結果、香典のお返し廃止を取り決め、先ず漁業者間で実践する。定着の見通しがついた昭和46年、漁協婦人部の総意として自治会及び町内の全婦人団体へ呼び掛け改善を求めた。様々な意見や反対があり試行錯誤を繰り返した結果、昭和48年から地区内で実施、現在も徹底されており住民から喜ばれている。

部員も地域を動かせた組織力に自信を持ち、積極的に活動参加するようになった。

続いて葬儀の簡素化も提案され昭和50年しきみ3対生花5対が申し合わされ、葬儀の華美が抑えられた。又、平成3年手伝い人は自治会班内とし少額品のお礼と改められた。

交際費の簡素化と並行して進められた七五三宮詣でも、昭和46年から自治会会長が両親に代わり子供達と共に参拝し、祈禱神事を行うよう改善された。今年は22名であった。

平成元年船おろし行事も改善され、新造船おひろめの祝いは船上で行うことになった。

〈海をきれいにする運動〉

地域住民の意識改革は海をきれいにする運動にも実践された。合成洗剤追放・浜掃除・廃油利用石けんづくり等全国的な運動への取り組みは勿論であるが、浜のゴミ放置には悩まされていた。地区の海に関する行事は淡嶋神社の「糺流し」と盆の「精霊流し」があった。流し糺は行事終了後回収されるが、全戸の供養物はそのまま放置されていた。

先ず、私達から「海」に対する意識を改めようと、平成元年盆行事の改善を申し合わせた。総会の決議後、部員の意識統一は、班内の回覧と諸会議や活動時の伝達で徹底した。

次に町内への協力依頼である。共同購入作業時にはそれぞれ話し合うが、供養物を海に流し精霊を送る風習は根強くなかなか賛同は得られなかった。反対の声が高い高齢者を和歌山市内に設置される供養物処理所へ同行し現状視察をした。10名余の若いお坊さんが熱心にお経を唱え供養している現状を見て、「なんと有り難い、もっと早よからやってもろたらよかった。」と町内に伝達して下さり、一挙に実現の運びとなった。

平成2年の初回は部員だけで各支部浜で供養物を集めた。ごはん・果物・生花・お茶まで持ってこれ、2トトラック4台になり荷造に大変苦労した。3年4年は自治会役員と合同で収集、5年以降は自治会へバトンタッチが出来た。量も年々少なくなり、今年は杖のみの回収で残りは普通の家庭ゴミとして処理するようになり、住民の抵抗も全くなかった。その後、地域住民のゴミ放置は顕著に少なくなり浜掃除も随分楽になった。

〈漁業・漁家経営の改善〉

昭和61年、漁協指導のもと白色申告から青色申告に切り替えられた折りにも、共同購入の場は生かされた。家計を預かる部員を対象に、漁協一括納付から個人申告への必要性や利点、又、収支の記帳・集計等の説明があった。家計簿記帳以外事務経験のない部員は共同作業時が手順や費用・科目内訳の情報交換や学習の場となり、お互いを励ましながら無事納付にこぎつけた。税理士並びに漁協職員の指導を得、青色申告を女性の手で成し遂げられたことは、漁業収支の把握はもちろん国民年金・健康保険等公共料金を盛り込んだ計画的な暮らしへの開眼にもなった。現在も年2回程度の指導があり青色申告は女性の役割として実践している。私事ですこれを機に、県漁協連募集明るい漁家の家計簿モニターに応募し収支のバランス検討や中期生活設計の樹立に大いに役立った。

5. 今後の課題

これらの活動が今日まで継続出来たのは、歴代部長・役員等による啓発の繰り返しと新しい活動を盛り込みながらの情報伝達等の成果であるが、活動を支えた共同購入は転換の時を迎えた。部員減少・高齢化、消費生活環境の進展等時代の変化に伴い利用量が減少。班毎の協議の結果、平成4年漁村センター竣工を機に展示販売に変える。年2回(6月・11月)漁村センター3階に2日間即売日を設け、部員が出向くことになった。遠方者や部員外の購入減少はあるが、他支部の部員との交流の場にもなり良かったとの意見もある。

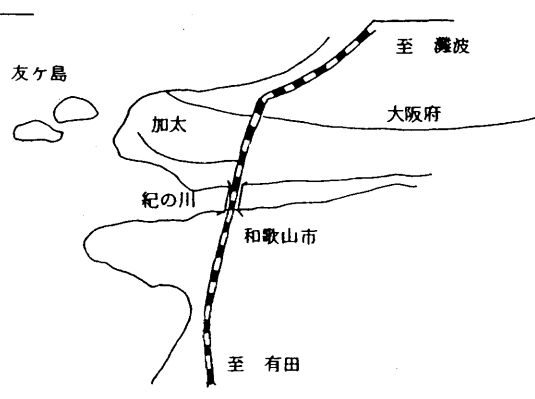
年々共同購入収益が低下するので活動費確保のために、設立以来40年間の無会費を改め、平成6年から一人年間1,000円の会費を徴収することになった。全員、共同購入や班組織の回覧・事業報告等で事情を把握しているので反対意見はなかった。

共同購入の減少に対して、魚食普及活動の重要性が部員に浸透してきた。漁獲量の減少と値崩れ等による漁業収入減が切実になり、何とかしなければの思いが共通する青壮年部と共同で、朝市を開催する運びとなった。

先進地視察を重ね、魚の盛り付け、販売単位、宣伝方法、値段等々検討の後、平成7年4月から毎月第一土曜日朝9時から朝市を開催している。当漁協は全漁獲物は組合の人札にかけられるため、仲買い権利を青年部が取得し人札、婦人部は市場価格や情報収集・販売作業を担当する。地元産鮮魚のPRを優先にするため赤字の月もあるが、自分達が付けた値で販売することに意気揚々である。共同購入に代わり朝市作業が活動と情報伝達の中心になってきた。又、青壮年部との共同作業なので、自然と漁業・漁協の状況や情報吸収ができ、部員に漁業全般への関心が高まり、月一回の役員会も話題が豊富になった。

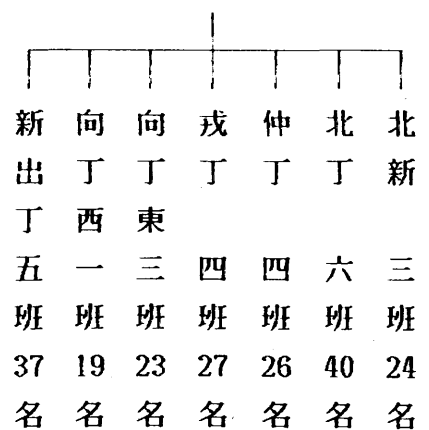
今後は、魚食普及を含めた漁業振興を主要な活動として、より一層部員の結束と組織を強化し、青壮年部との連携で活動の豊かさを図る。又、若い部員の活躍の場も盛り込み、活動の和を広げ地域と共に前進したいと考えている。

位置図



組織図

部長	1名
副部長	2名
会計	1名
監事	2名



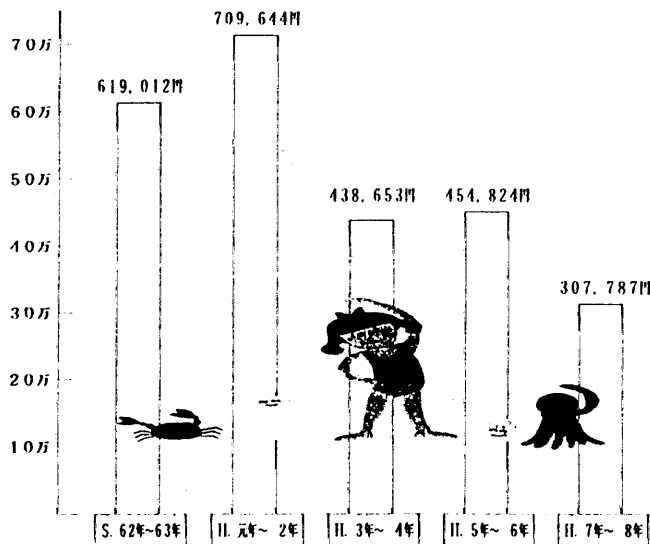
地域と漁業の状況 (戸, 人)

		S.40年	S.50年	S.60年	H. 5年	H.10年
地区	戸数	1,444	1,701	1,647	1,749	1,600
	人口	6,056	5,989	5,238	4,834	4,500
内漁業	戸数	340	313	254	240	217
	船員	340	313	274	255	242
	婦人部員	360	294	225	207	196

平成9～10年度 活 動 状 況

活動テーマ	開催日	活 動 内 容	参加者数
総会及び 役員会	9. 4. 7	新部長選挙 三役・班長選出	14名
	4.30	総会準備 新旧役員会 監査 事業伝達等	15名
	5.22	通常総会 事業報告・計画 役員改選承認他	112名
	※ 毎月1回	役員会 13名出席により事業推進・伝達等	延 20 回
	10.10. 9	明石大橋へ親睦旅行	54名
	10.12. 4	役員親睦忘年会	18名
朝市販売	2～12月	開催日一週間前 魚の種類・量を決定	9年11回
	第一土曜日	PRチラシ作成・新聞折込み配布 12,000部 前2日入札 当日朝7時準備 9時販売開始	10年11回 各 50名
魚食普及	9.7.31～1	おさかなママさん委嘱セミナー	2名
	10. 1	紀州のさかな料理集II 掲載料理 小アジ・アサリ	3名
	10. 8	信愛女子短大にて料理教室 アジ・タチウオ	4名
	10. 3. 6	部員対象我が家の健康料理 マカヒキ・ヒラメ	15名
	11. 2. 9	おさかなママさんクッキングセミナー	2名
海をきれい にする運動	9.6.7・24	地区内全浜の一斉掃除 男性も積極参加	320名
	10.6.6・23	〃	330名
	※ 7月	わかしお製品普及共同購入	全 員
	9. 8. 7	石けんのいらない和布 びわこあつ旋	130枚
協同運動	9. 6.12	海の子作文 小・中学校募集 入賞 2点	16点
	10. 6. 1	〃 知事賞 1点	41点
	※3月・10月	漁協事業 貯蓄推進月間参加	各 13名
	※ 6月	〃 漁協共済婦人研修	各 3名
	9.10.	〃 漁家預貯金・借入金調査	190戸
	※ 9. 1月	青色申告記帳指導・納付指導	全漁家
共同購入	9年 6月・11月	漁村センターにて 即売会	全 員
	10年 6月・10月	夏・冬用雨具・カッパ・ヤッケ・Tシャツ くつした・軍手・中敷き・てさし 等	
	9年5月 10年5月	殺虫剤・刃物のカタログ回覧共同購入	全 員
	10.2.9～24	海草クリームのカタログ回覧共同購入	〃
学習活動	9. 8.27	骨粗しょう症測定・健康管理講和	49名
	9.11.22	〃 健康管理食事講和	50名
	9. 7.14	漁婦連幹部研修会参加	4名
	10. 3. 6	健康管理料理教室 楓ソセジ・ヨーグルトトレーニング 他	14名
	9.10.15	和歌山市女性フォーラム 参加	3名
地域活動	10.11. 5	〃	5名
	9.11.10	愛のバザー 値付け 参加	2名
	10.11. 9	〃	2名

共同購入収益状況



平成10年度七五三の該当参加者調べについて

本年も七五三(11月15日の日曜日)が近づいてまいりました。該当される方は、下記にご記入していただき、10月15日(木)までに各自治会長に報告をお願いします。

参加される方の祈禱料については、1神社につき1人2,000円個人負担でお願いします。

尚、集合写真については、連合自治会より負担させていただきます。

また、子供の服装については、華美とならないようによくお願い申し上げます。

敬丁

記

(ふりがな) 子供の名前	(ふりがな) 保護者	T E L
増子 健太	増子 秀子	49-xxxx

※バスの行程については、後日通知致します。

拝啓 ますます御清栄のこととお慶び申し上げます
 この度 丸船知しに際し色々とお心遣い頂き誠にありがとうございます
 御礼申し上げます
 お陰様にて 丸無事進水させる事が出来ました
 早速拝届の上御礼申し上げますが、誠に失礼でございますが
 略儀ながら書中をもちまして御礼にかえさせていただきます
 敬具

平成十年十一月吉日
 〒640-01 和歌山市加太

加太漁協婦人部

640-0103

和歌山市加太下九

拝啓 晩秋の候 こそ同様には益々ご健勝のことと存じ上げます
 さて このたび 長女 眞弓 結婚に際しましては こそい重なるお祝を
 賜わりご芳情洵にありがたく厚く御礼申し上げます
 お陰様にて祝事万端相済ませる事ができました
 早速拝届の上御挨拶申し上げますが、加太地区ですすめる産礼慶止
 運動に参加しそれに従い誠に失礼ではございますが書中を以ちまして御礼
 少々御挨拶申し上げます
 敬具

平成十年十一月吉日

敬具

拝啓 盛夏の候 ますますご清栄のこととお慶び申し上げます
 さて このたび 私儀 入院加療中は種々ご心配賜わり 且つ又結構な
 お見舞を頂戴いたしご芳情洵にありがたく厚く御礼申し上げます
 幸い経過は順調にて退院いたし静養しておりますが 日一日と快方に
 向かいお陰様にて昨今すつかり元氣になって参りました
 早速拝届の上御挨拶申し上げますが、加太地区ですすめる産礼慶
 止運動に参加しそれに従い誠に失礼ではございますが書中を以ちまして
 御礼少々御挨拶申し上げます
 敬具

平成九年七月吉日

640-01

和歌山市加太下九

